

## トマトのアザミウマ類の 発生量が多くなっています

～白ぶくれ症果防止のため防除を徹底しましょう～

### 1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

トマト防除適期決定ほ調査（北秋田市）における青色粘着板へのアザミウマ類の誘殺数は、5月5半旬以降平年より多く推移し、平年より早い5月6半旬（平年6月5半旬）に急増期となった（図-1）。

6月2日に仙台管区気象台から発表された東北地方1か月予報では、6月11日～7月1日の気温は平年並～平年並か高い、降水量はほぼ平年並と予報されている。

以上のことから、今後、アザミウマ類による白ぶくれ症果の増加が懸念されるため、以下の対策を行う。

### 2. 防除対策

- 1) ハウス周辺の雑草は、アザミウマ類の増殖源となるため除草に努める。
- 2) 防虫ネットの展張等により、ハウス開口部からのアザミウマ類の侵入防止に努める。
- 3) アザミウマ類は幼果に産卵し白ぶくれ症果（図-2）の原因になるため、薬剤は花房に付着するよう丁寧に散布する。
- 4) 抵抗性の発達を回避するため、RACコードが同一の薬剤の連用を避け、RACコードの異なる薬剤をローテーションして散布する（表-1）。

### 3. 資料

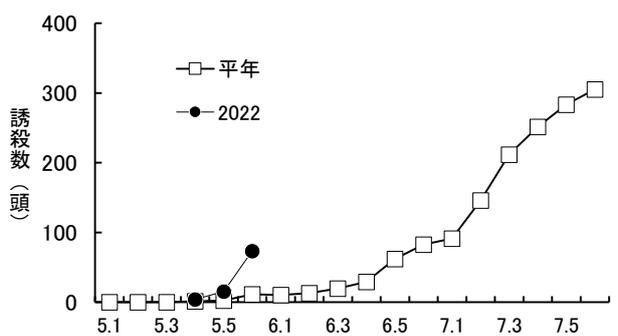


図-1 青色粘着板へのアザミウマ類の誘殺数  
（北秋田市防除適期決定ほ）（月半旬）



図-2 白ぶくれ症果

表-1 アザミウマ類の防除薬剤

RAC コード	農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数
3A	アーデント水和剤 ※	1,000倍	収穫前日まで	3回以内
4A	ベストガード水溶剤	1,000倍	収穫前日まで	3回以内
4A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3回以内
5	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	収穫前日まで	2回以内
13	コテツフロアブル ※	2,000倍	収穫前日まで	3回以内
15	カスケード乳剤 ※	2,000倍	収穫前日まで	4回以内
15	マッチ乳剤	2,000倍	収穫前日まで	4回以内

※ ミカンキイロアザミウマでの登録

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660

秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326

掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>